

暦の上では秋となりましたが、まだまだ暑さ残る日も多く涼しい風が吹くのが待ち遠しいこの頃です。猛暑だった8月も過ぎましたが、皆さまお変わりなくお過ごしでしょうか。

暑さの厳しかったこの夏、涼しい部屋で過ごす「おうち時間」が自然と増えたのではないのでしょうか。私は、その時間を楽しむ工夫のひとつとして、中華料理に挑戦するようになりました。お店で食べたあの本格中華を自宅でも簡単に作れないかと思い、レシピ本を探していた時に出会ったのが、酒徒（しゅと）さんという方の『新しい家中華』でした。自宅で大きな中華鍋を振って火柱を上げると大変なことになりますが、この本に紹介されているレシピの多くは、家庭にある小さめのフライパンで作れるもの。食材や調味料も近所のスーパーで手に入るものばかりです。珍しい調味料を買ったまま棚の奥で眠らせてしまう心配もなく、気軽に始められるものでした。その点は、さくらほりきりのクラフトキットのように、特別な道具や経験がなくても取り組めて、気づけば立派な「作品（料理）」が出来上がっている感覚に近いですね。私の心に残ったのは、著者の「おおらかな気持ちで作る」という言葉でした。分量はあくまで目安で、多少ぶれても味見をすれば大丈夫！と背中を押してくれます。広い中国では、同じ名前の料理でも地域によって味が異なり、みんな自分好みに作り変えているのだそうです。そう聞くと肩の力が抜けて、私も気軽に作ってみようという気持ちになりました。最初に挑戦したのは、一番シンプルな「卵とトマトの炒め物」。塩と油で炒めるだけですが、火加減と手順のちょっとしたコツを覚えると、あっという間に本格的な一皿が仕上がります。チャチャッと作れる献立が自分の手札に増えると、なんだか心強いものです。2歳の息子も「おいし」と言いながら食べてくれました（最近は何を食べても「おいし」なので、ほぼ口癖のようなものですが、それでも合格点もらった気分です）。小さな挑戦のつもりが、気づけば大きな充実感につながっていました。だからこそ、何かを作る時間はやめられないのだと改めて思った今年の夏でした。

さて、いよいよ「手作りの季節」の到来です。この季節に手作りを心ゆくまでお楽しみいただけるクラフトキットのご案内をお届けいたしました。作り応えもあり、贈り物やインテリアに使いやすいシンプルなデザインのきめこみパッチワークや押絵の新作をはじめ、ハロウィンやクリスマスなどイベント盛りだくさんのこれからの季節、気軽に挑戦できるキットも多数ご紹介しています。また、発売以来大好評の『飾り香』や『天然木のさくらあーと』の箱シリーズなどにも新作が登場しました。思わず笑みがこぼれる可愛いデザインですので、ぜひチェックしてみてください。『2026年えとシリーズ』はいよいよ全商品が出揃いました。

「幸福が駆け込んでくる一年となるように」との思いを込め、躍動感あふれる馬をいろいろな作り方でお楽しみいただけます。贈り物や新年の飾りはもちろん、手作りの季節を楽しむイベントにもぜひご活用ください。

楽しく彩り豊かな手作りの時間を、さくらほりきりのクラフトキットでお過ごしください。（山）

